

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日 現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	1,371	買掛金	600
売掛金	1,005	短期借入金	150
商品及び製品	1,034	未払金	257
仕掛品	6,304	前受金	42
原材料及び貯蔵品	2	預り金	9
未収入金	5	未払法人税等	178
未収還付消費税等	206	未払費用	56
その他	121	賞与引当金	71
流動資産合計	10,051	流動負債合計	1,366
固定資産		固定負債	
有形固定資産		長期借入金	2,925
建物(純額)	107	長期未払金	20
機械及び装置(純額)	423	固定負債合計	2,945
工具、器具及び備品(純額)	37	負債合計	4,311
有形固定資産合計	567	純資産の部	
無形固定資産		株主資本	
ソフトウェア	14	資本金	100
ソフトウェア仮勘定	1	資本剰余金	
無形固定資産合計	16	資本準備金	5,756
投資その他の資産		その他資本剰余金	7,740
投資有価証券	1,240	資本剰余金合計	13,496
関係会社出資金	30	利益剰余金	
繰延税金資産	333	その他利益剰余金	4,355
その他	71	繰越利益剰余金	4,355
投資その他の資産合計	1,676	利益剰余金合計	4,355
固定資産合計	2,260	自己株式	△ 10,759
		株主資本合計	7,192
		評価・換算差額等	
		その他有価証券評価差額金	807
		評価・換算差額等合計	807
		純資産合計	8,000
資産合計	12,311	負債純資産合計	12,311

個別注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券
 - 関係会社出資金……………移動平均法による原価法
 - 其他有価証券
 - ・市場価格のない株式等以外のもの……………時価法を採用しております。
 - 取得原価と時価との差額の処理方法……………全部純資産直入法
 - 売却時の売却原価の算定方法……………移動平均法による原価法
 - ・市場価格のない株式等……………移動平均法による原価法
 - (2) 棚卸資産
 - 通常の販売目的で保有する棚卸資産
 - ・商品及び製品……………平均法による原価法
 - ・仕掛品……………平均法による原価法
 - ・原材料及び貯蔵品……………先入先出法による原価法
 - 収益性の低下した棚卸資産については、帳簿価額を切下げております。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
 - 定額法で計算しております。
 - 耐用年数についてはビジネスごとに実態に応じた回収期間を反映し、次のとおり見積もっております。
 - ・建物……………3年～18年
 - ・機械及び装置……………2年～4年
 - ・工具、器具及び備品……………2年～15年
 - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）
 - 定額法で計算しております。
 - このうち、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年以内)に基づく定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金
 - 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
4. 重要な収益及び費用の計上基準
 - 製品販売に係る収益は、主に半導体メモリ製品を代理店又は直接ユーザーへ販売する取引によるものであり、顧客との販売契約により、受注した製品を引き渡す義務を負っております。当該履行義務は製品を引き渡す一時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。

【当期純損益金額】

当期純利益 1,219百万円